

通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

雷から大切な機器を守れていますか？

夏の時期は雷の発生が多くなります。雷から大切な機器を守る対策はできていますでしょうか？

落雷時には瞬間的に3000~4500Vもの高電圧が流れます。雷が直撃していなくても、雷の発生した周辺に大きな電圧が発生

するため、パソコン・周辺機器の電源が入らないなどの故障や、最悪の場合は火災が発生することもあります。雷による被害には、異常な過電圧・過電流が室内に流れ込む「雷サージ」による機器の故障があります。

落雷の発生時期は？雷サージって何なの？

落雷の発生件数は年々増えている！

気象庁のデータによると、雷は夏に発生しやすく特に8月が多いとされています。落雷被害も夏が多くなる為注意が必要です。下図はお天気データサイエンスがまとめた「2017年から2024年の7月および8月の近畿地方における落雷数」をカウントしたものです。この8年間の表を見てみると、ここ3年の落雷数は倍程度に増加しているのが分かります。今年4月には奈良県で中学校の部活中に起きた落雷事故もありました。落雷が増加している背景につい

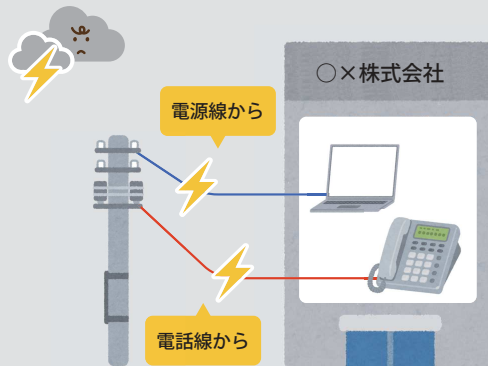
	7月	8月	合計
2017年	12,054	16,001	28,055
2018年	2,852	12,304	15,156
2019年	6,528	7,784	14,312
2020年	7,721	17,428	25,149
2021年	25,475	5,342	30,817
2022年	14,444	36,252	50,696
2023年	28,672	24,816	53,488
2024年	27,945	26,433	54,378

お天気データサイエンスより

ては様々な分析がされていますが、近年は気候変動によって気温が上昇傾向にあり、日本付近で海面水温が高い状態が続いていることも一因ではないかと考えられています。

雷サージとは？

雷サージとは、落雷時に一時的に発生する過剰な電圧・電流のことで、電源線や電話線、またはテレビアンテナなどを通して屋内に侵入することがあります。1,000アンペア~300キロアンペアの大電流であるため、対策を施さないと、テレビやパソコン・電話、その他家電製品等の電源が入らなくなる、誤作動を起こすなどの影響を与えてしまいます。雷サージの侵入により、最悪の場合は火災が発生する恐れもあります。



雷サージ防護対策どうすればいいの？

雷エネルギー量に見合う最適なSPD(サージ保護デバイス)を選定して設置し、雷サージを安全に放流することで機器を保護します。SPDを設置すると、電源または通信回線から侵入した雷サージは、SPDの内部を通過し、それぞれの出口となる電源・通信回線へ放出されます。雷の通過経路になりやすい通信機器に

安全な「逃げ道」を用意することで、大切な機器とデータを過電圧・過電流から安全に保護します。雷サージ侵入時も電源を切らずにそのまま機器を使用することができ、SPD自体も繰り返し使用できます。

